

<眼科>

一般（教育）目標

眼科診療の基本を身につけ、疾患および病態の理解を深める。白内障、緑内障、網膜剥離、加齢黄斑変性等の頻度の高い疾患については基本的な臨床的マネジメントが行えることを目標とする。下垂体疾患や糖尿病網膜症をはじめとする全身的な管理が必要とされる疾患については他科と連携しチーム医療に参加する。白内障や硝子体疾患の手術の適応、手術の実際、周術期の管理を学ぶ

(具体的) 行動目標

- (1) 基本姿勢 病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める
- (2) 診察法、検査、手技：眼科の病態を把握するための検査計画が行える
- (3) 症状、病態への対応：行った検査の評価ができる。頻度の高い疾患に対する基本的な対応ができる

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者、外来患者の診療を行う
- (2) 上級医の指導のもと人間ドックの眼底写真の判定を行う
- (3) 手術の見学、助手を行う
- (4) 視能訓練士の指導のもと外来検査を行う

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 网膜硝子体疾患の手術例について回診の際にプレゼンテーションを行う
- (2) 外で経験した問題例を症例検討会でプレゼンテーションを行う。希有な症例については上級医指導のもとに学会発表を行う
- (3) 抄読会に参加し、分担担当する

週間予定（例）※随時、病棟業務、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	外来	硝子体手術	白内障手術	外来	外来
午後 1	検査	検査	白内障手術	硝子体手術	検査
午後 2			回診、抄読会、症例検討会	クルズス	

EV評価

PG-EPOCによる評価方法（研修医⇨指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC評価システムに入力すること